

# 認知症の症状とサービスなどの流れ

認知症の状態や症状など、経過に応じて利用できる支援・サービスは異なります。経過がどの段階なのかを確認して、最も適したサービスや必要な医療を受けるようにしましょう。



右に行くほど発症から時間が経過し、進行している状態

	健康な状態	軽度認知障害 (認知症の疑いがある)	軽度 (誰かの見守りがあれば日常生活はほぼ自立)	中等度 (手助け・介護が必要)	重度 (常に介護が必要)
本人の様子 (病状や行動例)	<ul style="list-style-type: none"> <li>規則正しい生活習慣や適度な運動習慣を心がけましょう。</li> <li>認知症について正しい知識や理解を深めておきましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>もの忘れの自覚が出てくる。</li> <li>新しいことがなかなか覚えられない。</li> <li>もの忘れがあるが、金銭管理や買い物など日常生活は自立している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>金銭管理や服薬管理が難しくなる。</li> <li>同じことを何回も聞く。</li> <li>今までできていたことにミスが目立つ。</li> <li>不安やうつ状態、イライラ等がみられることがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>着替えや食事、トイレ等がうまくできない。</li> <li>自宅がわからなくなる。</li> <li>日にちや時間がわからなくなる。</li> <li>季節に合った服が選べない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ほぼ寝たきりで意思の疎通が困難。</li> <li>言葉でのコミュニケーションが難しくなる。</li> <li>身の回りのことができない。</li> <li>家族や身近な人のことがわからなくなる。</li> </ul>
相談	地域包括支援センター、認知症初期集中支援チーム、大子町役場福祉課、居宅介護支援事業所、社会福祉協議会、認知症カフェ				
介護予防	地域での活動、老人クラブ、ふれあい・いきいきサロン、シルバーリハビリ体操教室、だいき健康アドバイザー教室		元気アップ教室、パワーアップ教室、認知症サポーター養成講座		
医療・介護	健康診査				
	かかりつけ医、往診、訪問歯科診療、訪問看護、訪問薬剤師、物忘れ外来、精神科、認知症疾患医療センター、サポート医				
	介護保険サービス（訪問介護、通所介護、訪問リハビリ、通所リハビリ、ショートステイ、訪問看護、小規模多機能等）				
生活支援	あんしんコール、緊急通報システム				
	日常生活自立支援事業（金銭管理等）		成年後見制度、おかえりマーク		
	地域支え合いサービスセンター事業「さとも」				
家族支援	地域包括支援センター、社会福祉協議会、認知症カフェ、介護用品事業（宅配・介護に関する講習会）、在宅介護慰労金（※支給要件あり）				
住まい	自宅（住宅改修、福祉用具貸与／販売）、有料老人ホーム				
	養護老人ホーム				
	認知症対応型共同生活介護（グループホーム）、介護老人保健施設、介護老人福祉施設				



詳しく知りたいサービス等がありましたら、**地域包括支援センター ☎0295-72-1175**へご連絡ください。